

ビジネスウェアのレンタルサービスが登場

◆ビジネスウェアのファッションレンタルサービスが新たに登場

アパレル大手のレナウンは2018年春からビジネスマン向けのスーツのレンタルサービス「着ルダケ」を開始する。月額4,800～9,800円でスーツやシャツ、ネクタイを春夏や秋冬のシーズンごとに借りることができる。返却時のクリーニングは不要で、次のシーズンまで保管してくれるサービスだ。18年度は法人向けに福利厚生の一環サービスとして提供を開始し、19年からは一般向けのサービスを展開する。スーツ専門店のAOKIもビジネスウェアのシェアリングとして「suitsbox」を18年4月末から提供する。月額7,800～24,800円の価格帯で3種類のサービスがあり、スーツ、シャツ、ネクタイなどを提供する。ユーザがweb上のQ&Aに答えることで最適なサイズや好みを分析して服を提供する。「suitsbox」は若手社員4名で発案され、クラウドファンディングで資金を調達して実現したプロジェクトだ。各社、1万人のユーザー獲得を目指している。

【レナウンとAOKIのビジネスウェアのレンタルサービス】

企業名 サービス名	サービス内容	利用料金 (月額税別)	開始時期	その他
レナウン 「着ルダケ」	¥9,800で春夏と秋冬毎にスーツ3着、シャツ5枚、ネクタイ5本を提供。契約期間は2年以上で、服は2年で入替え。商品の買取りも可能。	¥4,800 ～¥9,800	2018年 春	18年度は福利厚生の一貫として法人向けに提供。19年から一般向けに展開。
AOKI 「suitsbox」	web申込時のQ&Aでサイズや好みのデザインを分析。スーツ、シャツ、ネクタイなどを3種類のコースで提供。月1回無料で交換可能。	¥7,800 ～¥24,800	2018年 4月30日	若手社員によるプロジェクト。クラウドファンディングで事業化資金を調達。

(出所)プレスリリース、新聞記事などの公開情報を基に旭リサーチセンター作成

◆利用価値が明確なビジネスウェアのレンタルサービスは広がるか

モノを所有することにこだわらず、その利用価値を重視するという意識が若年層を中心に高まっている。ビジネスウェアは、服のなかでも個人が装いを楽しむために着るという側面よりも、自身の社会的な立場や役割などを示すなど制服的な意味合いをもつ場合が多い。若年層に支持されている服のレンタルサービスが利用価値がより明確なビジネスウェアにも展開されることで、幅広い年齢層に受け入れられ、今後、市場が拡大するかどうか注目される。 【新井佳美】